

作 齋藤 憐

演出 佐藤 信・眞鍋卓嗣

# 春、忍び難きを

敗戦後の信州・松本の庄屋一家  
平凡な山里の暮らしが  
根こそぎ変わる一年  
田舎に残る者、都会に出て行く者  
七十年後の私達に  
今生きている原点を振り返らせる



画 早野進

戦後70余年を迎える今、  
もう一度この作品を通して日本のあり様を考えてみたい。  
社会の変化におびえるあの時代の男たち、  
そんな男たちをしり目に、女たちは黙々と農作業に従事していた。

紀伊國屋・鶴屋南北ダブル受賞の齋藤憐が、最高のスタッフ・キャストで  
新劇の真髓に迫る――。

演劇鑑賞会 ☆ 松江市民劇場

7月9日(日) 15:30 開演 観劇は感激!

会場：島根県民会館 大ホール 後援：松江市教育委員会

●入会と観劇のお問い合わせは…松江市民劇場事務局 / TEL 0852(26)3094

※入会時 4,600円 (入会金 2,300円 + 月会費 2,300円)

